

所得税法		講義	教授 田地野 幹雄	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目 会計ファイナンスコースの 専門選択科目	科目ナンバリング	23220213	

1. 授業のねらい・概要

所得税は個人の所得にかかる税金で、ひとに最も身近な税金である。授業では、まず所得税の基本事項を概観し、次いで課税所得および所得税額算定のための計算プロセス、所得税申告に係る諸制度を順次説明する。なお、本科目の履修に当たっては、「租税法概論」を履修しておくことが望ましい。

2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った遠隔授業（課題提示方式）を基本とする。また、理解の定着を図るため、適宜、簡単な演習問題も課すことにする。

3. 授業計画

1. 所得税総説	9. 必要経費①（売上減価、販売費・一般管理費）
2. 納税義務	10. 必要経費②（減価償却費、貸倒損失等）
3. 所得の種類①（利子・配当・不動産）	11. 損益通算・損失の繰越控除
4. 所得の種類②（事業・給与・退職）	12. 所得控除①（雑損・医療費・保険料・寄附金等）
5. 所得の種類③（山林・譲渡・一時・雑）	13. 所得控除②（寡婦・勤労学生・配偶者・扶養等）
6. 所得税の課税標準	14. 税額の計算、申告・納付・還付等
7. 所得税の課税の特例	15. まとめの問題
8. 収入金額	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配付プリントやノートを使って復習しておく。さらに、テキストの予習も行っておく。なお、これらの準備学修には2時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート提出の後、解答などを受講学生にメール送信する。

6. 授業における学修の到達目標

所得税の一連の計算プロセスを理解して、納付税額を算出できる。

7. 成績評価の方法・基準

試験の結果（30%）、課題等への内容（40%）、授業への取組み姿勢（30%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストとして税務大学校講本「所得税法」を国税庁のホームページからダウンロードして使用するほか、テキストの概要をまとめたレジュメを配付するので、毎回の授業に必ず持参すること。また、適宜、演習問題のプリント等を配付する。

9. 受講上の留意事項

受講者は必ず電卓を持参すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、国税庁における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。